



# 学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和元年5月30日

第3号



「ハリーポッターがあるよ」

校長 神田 敏之

図書室から届いたばかりの「黄色いかご」をさっそく見ている子どもたちが話していました。

「黄色いかご」とは、市民図書のボランティアの方々を中心となって行っている活動です。担任が学習で使用したい本、ボランティアの方がその学年にあった本をおよそ20冊選んで、かごに入れて一か月間学級に貸し出しています。その期間は教室で自由に読むことができます。冒頭の言葉は学級の中にハリーポッターシリーズを好きで読んでいる子どもがいるのを知っているから出た言葉です。読書への興味だけでなく友達の読書傾向まで知っているとは驚きです。（本を選んでいるボランティアの方にお願ひして、自分の興味ある本を入れてもらった子どももいるそうです！）

先日のホタル池活動では、地域の方からホタルの幼虫のえさになる「カワニナ」（淡水に生息する巻貝）の話をお伺いしました。えさと聞くと食べるのかと思ってしまうのですが、栄養分を吸うのだそうです。地域の方や保護者の方の協力のもと水路の整備や草刈りもしました。ホタルを見るのが楽しみになってきました。

このように本校では学校運営協議会を中心に地域の方にご協力いただいていることがたくさんあります。PTA活動や読み聞かせなど保護者の方にもご協力いただいています。これまでに協力体制をつくっていただいた方々に感謝申し上げます。

地域の方と子どもたちがかわることにはどんなよさがあるのでしょうか。知らなかったことや気づかなかったことを教えてもらえるということがあります。それ以上に学校やこの地域を愛してくださっている気持ちや姿、このことを感じてほしいと思います。人や自然とのかかわりを通して地域を愛し、子どもたちの社会性を育てていきます。